

2016年7月5日

第18回長野マラソン 出場者アンケート 報告書

(2016年4月18日～5月12日調査)

I	調査の設計	1
II	結果の概要	4

長野マラソン大会組織委員会
一般社団法人 長野県世論調査協会

I 調査の設計

◆調査の目的

第18回長野マラソンは4月17日、長野運動公園～長野オリンピックスタジアムの42.195キロで開催した。9530人が出場し、8052人（男子6860人、女子1192人）が完走。男子はチャンチマ選手（ケニア）、女子はインセルム選手（エチオピア）が優勝した。

長野マラソン大会組織委員会と長野県世論調査協会は、これからの大会運営と長野市のまちづくりのあり方を探るため、恒例の参加ランナーを対象とするアンケートを共同で実施した。

◆調査の設計

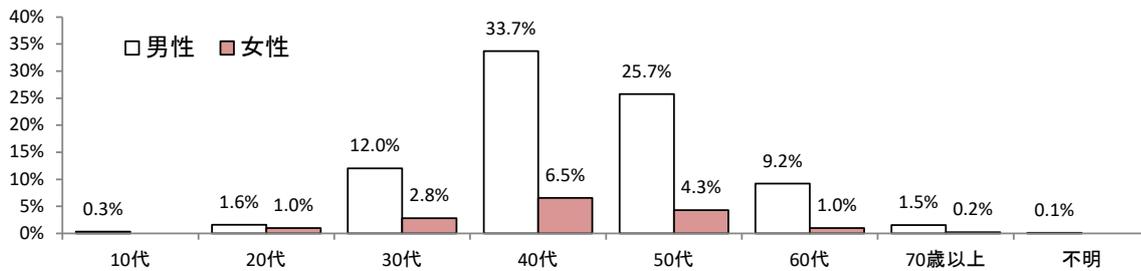
▽調査対象	国内一般の部および視覚障がい者の部出走者 9141人
▽調査方法	前日の受付の際に配布 回収はインターネット、郵送、ファクス
▽調査期間	2016年4月18日～5月12日
▽回収結果	有効回収数 1562人（回収率17.09%）
▽調査主体	長野マラソン大会組織委員会 一般社団法人長野県世論調査協会

<注>報告書のパーセント数字は小数点2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

◆サンプルの内訳

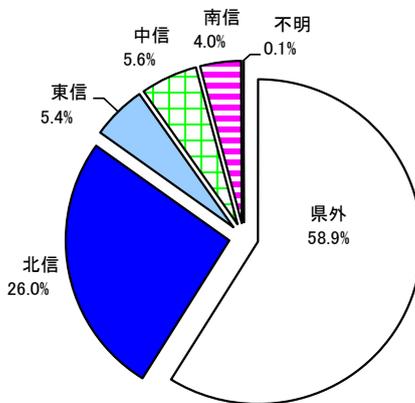
【性別と年代】

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
全体	1562	5	40	232	628	469	159	27	2
	100.0%	0.3%	2.6%	14.9%	40.2%	30.0%	10.2%	1.7%	0.1%
男性	1316	5	25	188	526	402	144	24	2
	84.3%	0.3%	1.6%	12.0%	33.7%	25.7%	9.2%	1.5%	0.1%
女性	246	-	15	44	102	67	15	3	-
	15.7%	-	1.0%	2.8%	6.5%	4.3%	1.0%	0.2%	-



【住所】

県外	920	58.9%
長野県内	642	41.1%
北信	406	26.0%
東信	84	5.4%
中信	88	5.6%
南信	63	4.0%
不明	1	0.1%



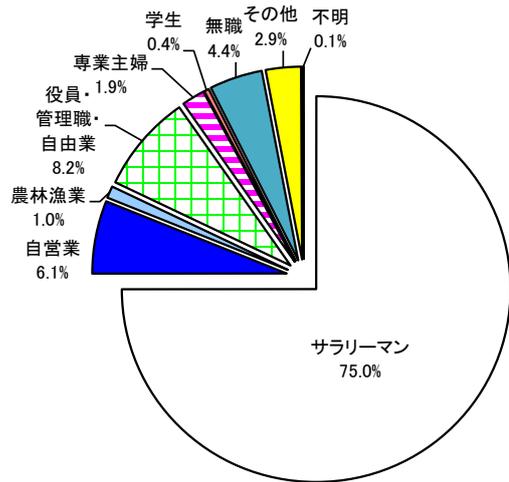
【都道府県】

北海道	4	0.4%
青森県	1	0.1%
岩手県	2	0.2%
宮城県	8	0.9%
秋田県	1	0.1%
山形県	-	-
福島県	6	0.7%
茨城県	7	0.8%
栃木県	5	0.5%
群馬県	18	2.0%
埼玉県	89	9.7%
千葉県	41	4.5%
東京都	232	25.2%
神奈川県	124	13.5%
新潟県	52	5.7%
富山県	21	2.3%
石川県	12	1.3%
福井県	6	0.7%
山梨県	8	0.9%
岐阜県	25	2.7%
静岡県	15	1.6%
愛知県	112	12.2%
三重県	23	2.5%

滋賀県	11	1.2%
京都府	10	1.1%
大阪府	35	3.8%
兵庫県	15	1.6%
奈良県	15	1.6%
和歌山県	3	0.3%
鳥取県	-	-
島根県	1	0.1%
岡山県	3	0.3%
広島県	2	0.2%
山口県	-	-
徳島県	3	0.3%
香川県	1	0.1%
愛媛県	-	-
高知県	-	-
福岡県	4	0.4%
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	1	0.1%
大分県	-	-
宮崎県	-	-
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-
不明	4	0.4%

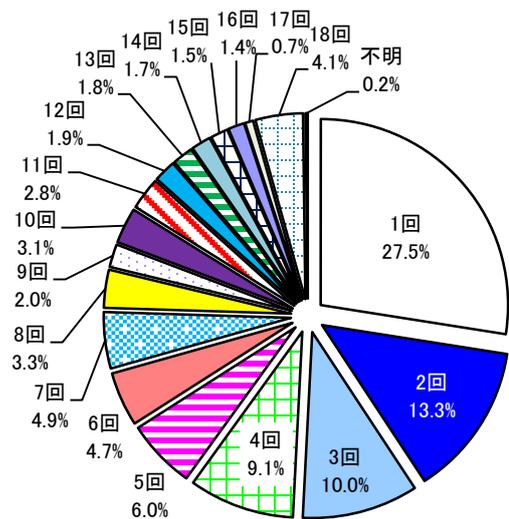
【職業】

サラリーマン	1172	75.0%
自営業	95	6.1%
農林漁業	15	1.0%
役員・管理職・自由業	128	8.2%
専業主婦	30	1.9%
学生	6	0.4%
無職	69	4.4%
その他	45	2.9%
不明	2	0.1%



【申し込み回数(今大会を含む)】

1回	430	27.5%
2回	207	13.3%
3回	156	10.0%
4回	142	9.1%
5回	94	6.0%
6回	73	4.7%
7回	76	4.9%
8回	52	3.3%
9回	31	2.0%
10回	49	3.1%
11回	44	2.8%
12回	30	1.9%
13回	28	1.8%
14回	26	1.7%
15回	24	1.5%
16回	22	1.4%
17回	11	0.7%
18回	64	4.1%
不明	3	0.2%

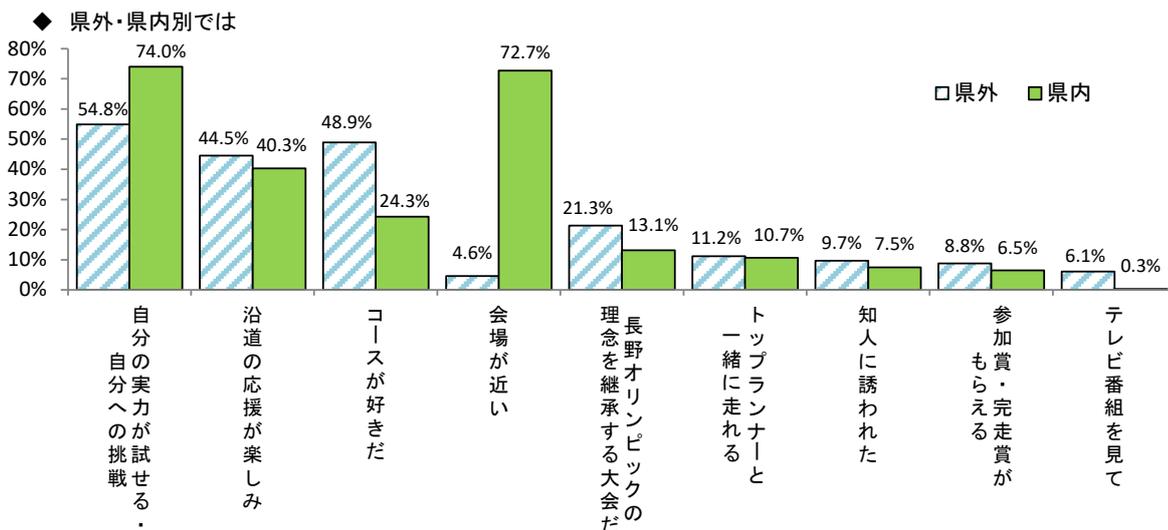
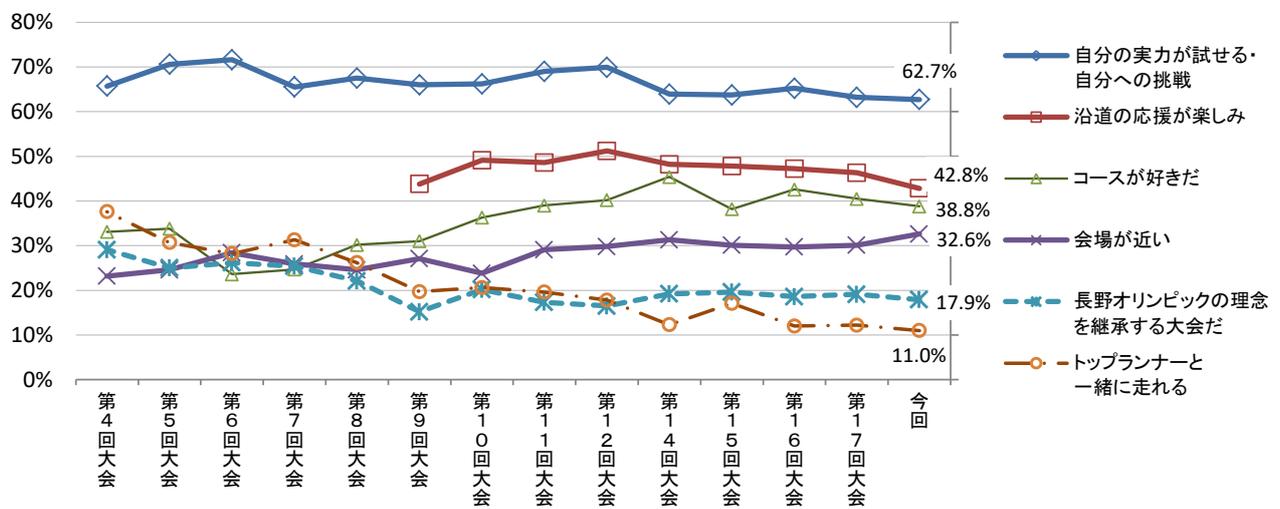


II 結果の概要

参加の動機 「自分の実力が試せる」63% トップ維持

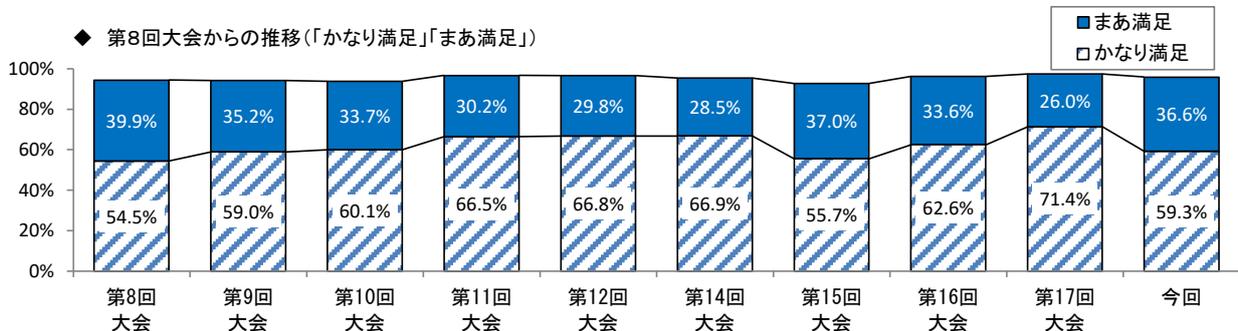
「自分の実力が試せる・自分への挑戦」が63%で最も高く、「沿道の応援が楽しみ」43%、「コースが好きだ」39%、「会場が近い」33%と続く。前回大会との比較では、「会場が近い」が3ポイント増加で、「沿道の応援が楽しみ」が4ポイント減少しているが、順位に変動は見られない。

県外勢で「コースが好きだ」、「長野オリンピックの理念を継承する大会だ」が高い。県内勢は「自分の実力が試せる・自分への挑戦」と「会場が近い」が7割を超える。



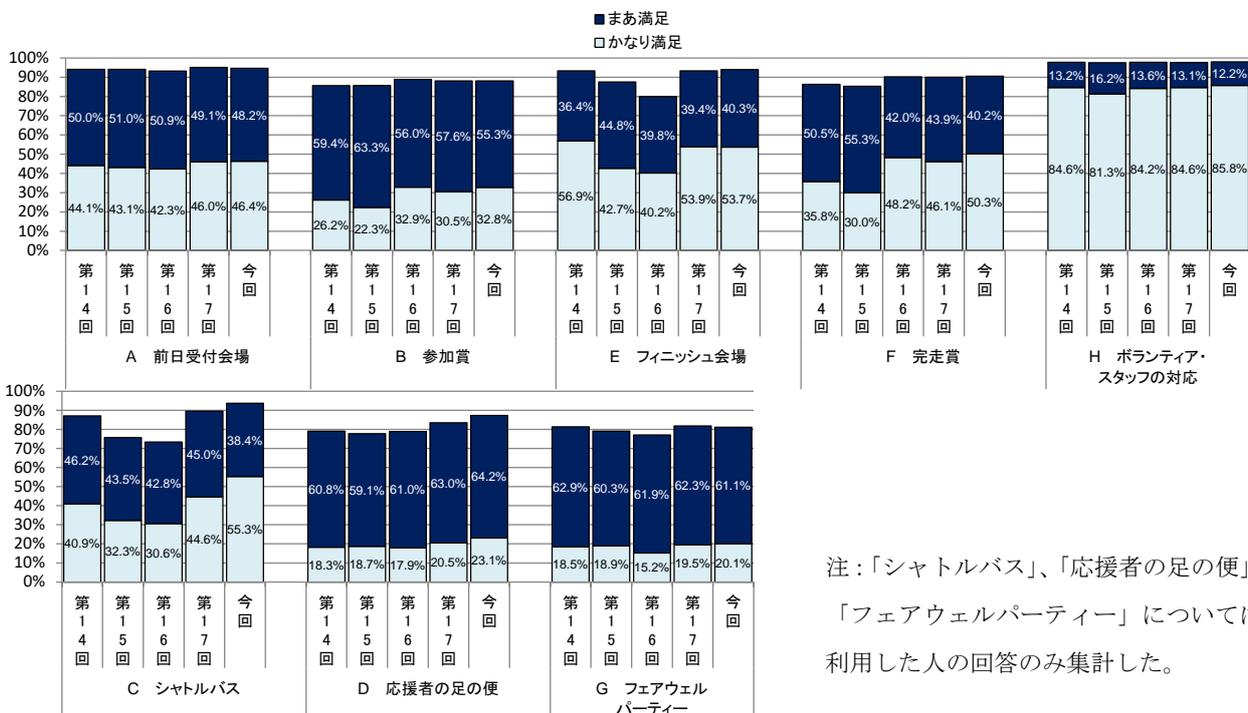
参加の感想 「満足」全体で96%

「かなり満足」が59%、「まあ満足」が37%で、合わせて96%が満足と回答した。前回大会と比べると全体では変わらないものの、「かなり満足」が12ポイント減少しているのが目立つ。大会当日の悪天候が参加者の満足度に影響していると思われる。



満足度 大会運営・催し物 シャトルバス「かなり満足」11ポイント増

8項目のうち、最も満足度が高かったのは「ボランティア・スタッフの対応」で、「かなり満足」と「まあ満足」を合わせた全体で98%に上る。前回大会との比較では、「シャトルバス」で「かなり満足」が11ポイント増加しているほか、「完走賞」が4ポイント、「参加賞」が2ポイント、「応援者の足の便」が3ポイント増加しており、全体的に満足度が上昇している。

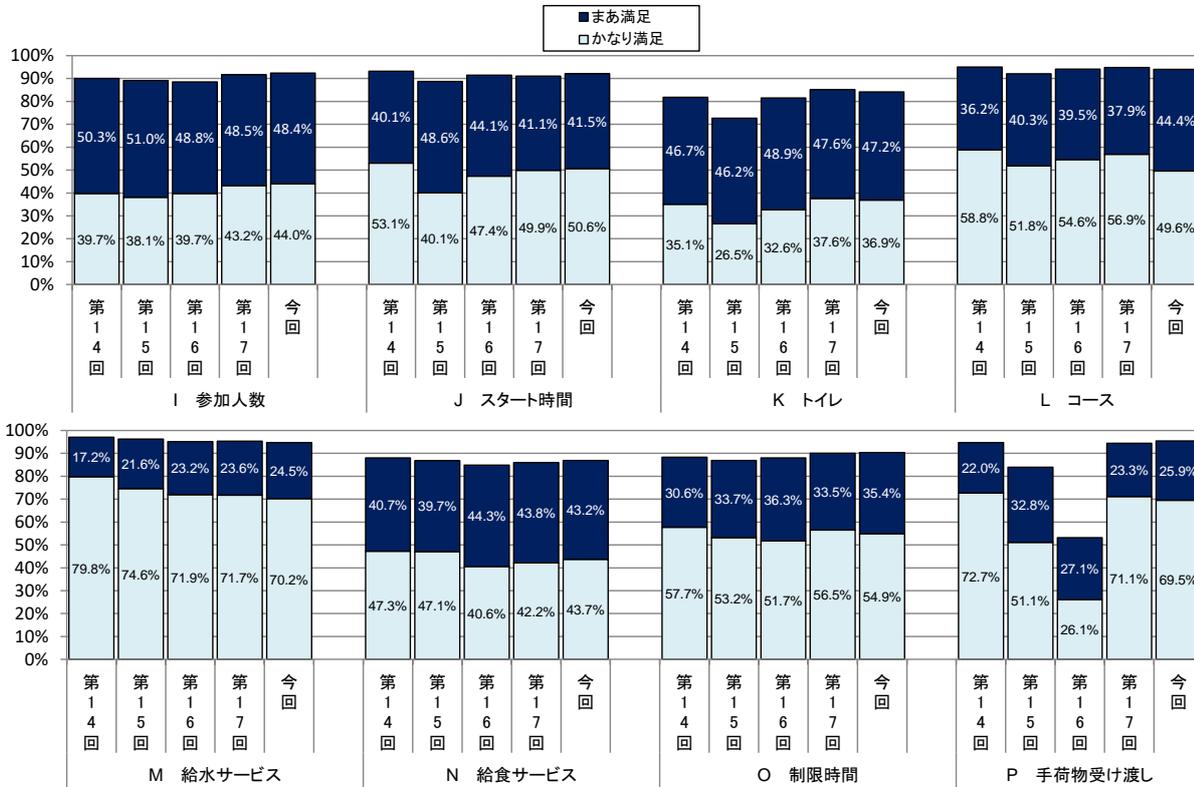


注:「シャトルバス」、「応援者の足の便」、「フェアウェルパーティー」については利用した人の回答のみ集計した。

満足度 レース運営・サービス

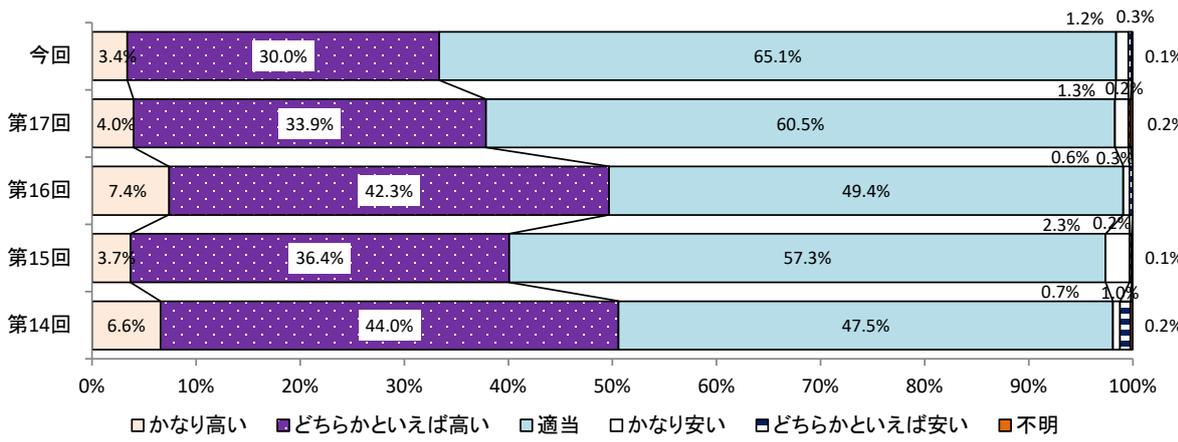
「手荷物受け渡し」「給水サービス」満足 95%

「手荷物受け渡し」と「給水サービス」が満足の全体で 95%と高い。「コース」は悪天候の影響か、「かなり満足」が7ポイント減の50%。「かなり満足」と「まあ満足」を合わせた満足度は、全体的に前回と同水準だった。

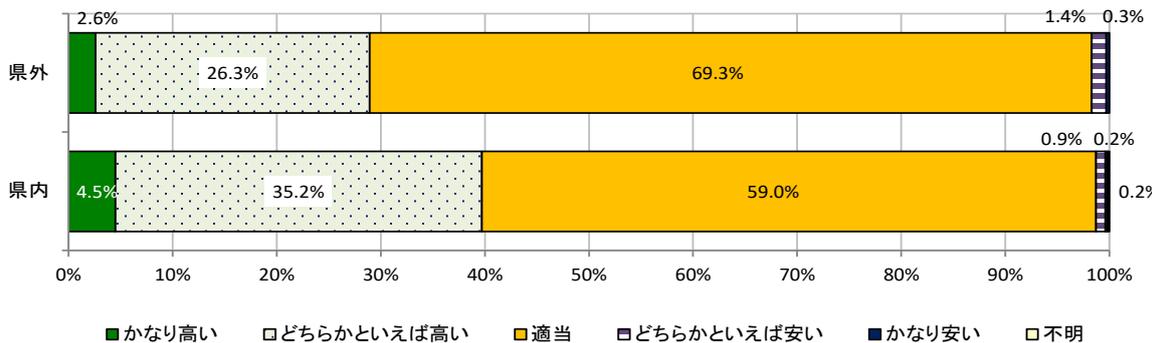


評価 参加料 「適当」 3人に2人

「適当」が5ポイント増の65%で、「高い」は全体で5ポイント減の33%。県外勢と参加回数が3回以下で「適当」が約7割と高め。

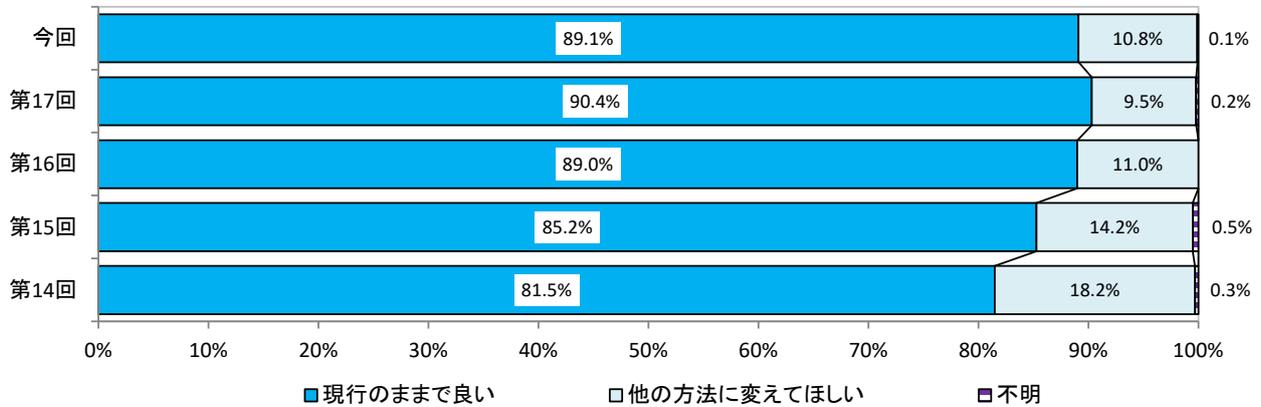


◆県外・県内別では

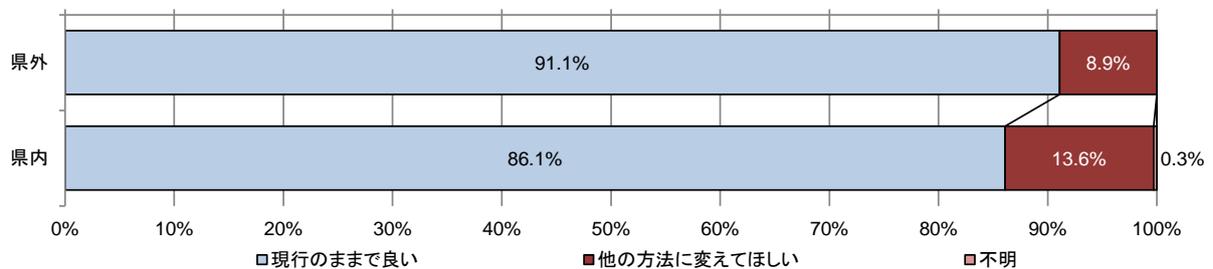


評価 エントリー 「現行のままで良い」約9割

エントリー方法について「現行のままで良い」が89%と多数を占める。「他の方法に変えてほしい」は微増の11%。70歳以上で「他の方法に変えてほしい」が19%とやや高め。

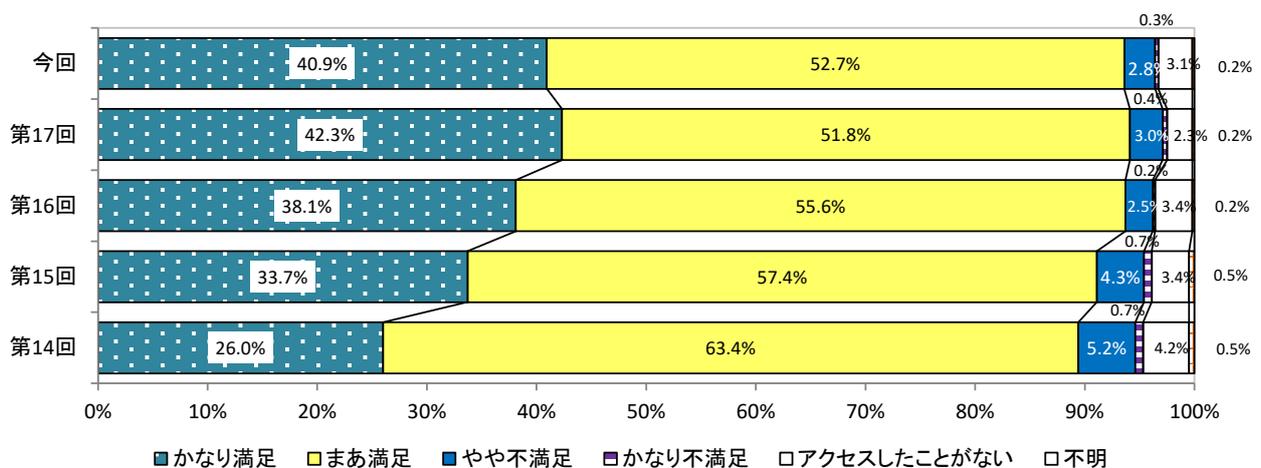


◆県外・県内別では



評価 公式ホームページ 「満足」全体で94%

「かなり満足」が41%、「まあ満足」は53%で9割以上が満足と回答した。「アクセスしたことはない」は3%。前回と比べて大きな変化は見られない。

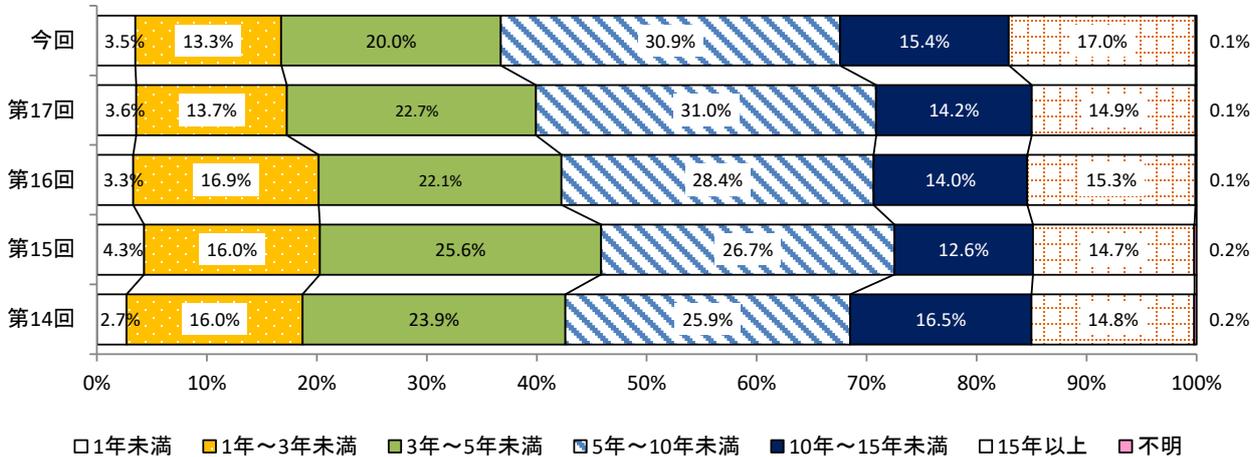


マラソン歴

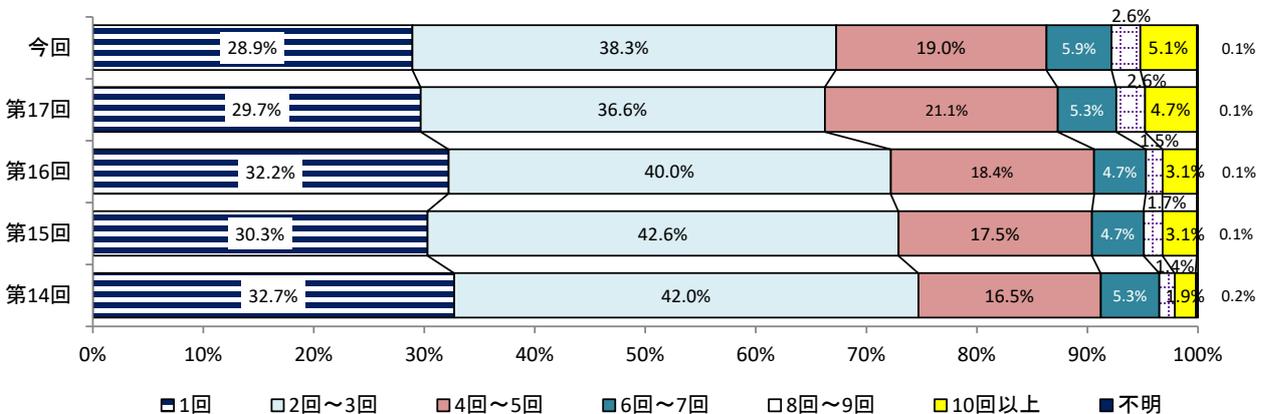
期間とフルマラソンの経験

「5年～10年未満」3割

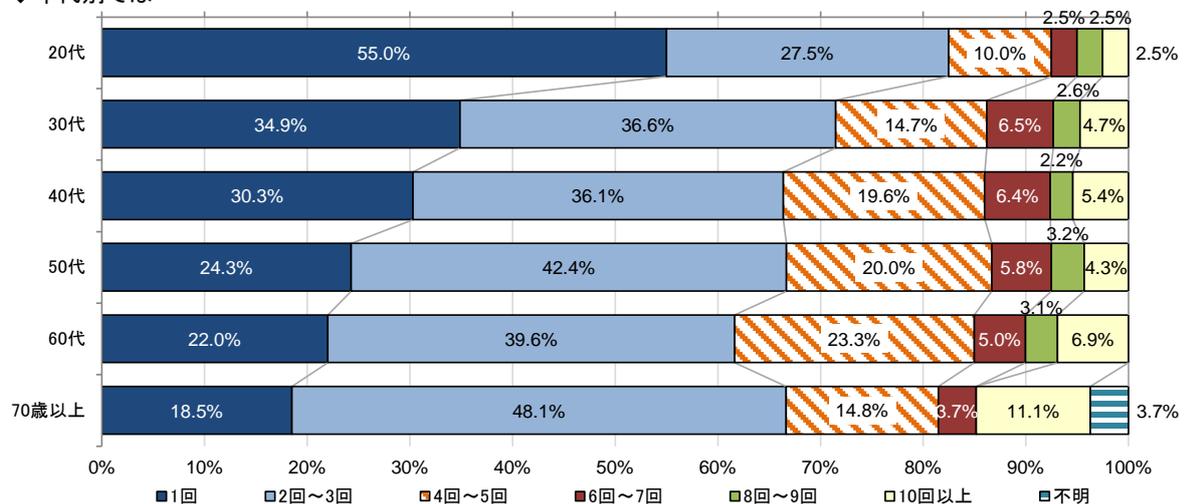
マラソンを始めてからの期間を聞いたところ最多は「5年～10年未満」の31%。「3年～5年未満」が20%、「15年以上」が17%で続く。前回から「3年～5年未満」が3ポイント減少し、「15年以上」が2ポイント増加している。高齢層で「15年以上」が高く、60代で48%、70歳以上では56%に上る。



1年間のフルマラソン出場回数で最多は「2回～3回」の38%。「1回」が29%、「4回～5回」が19%で続く。県内勢は「1回」が半数超で、県外勢は「2回～5回」が7割弱と高い。



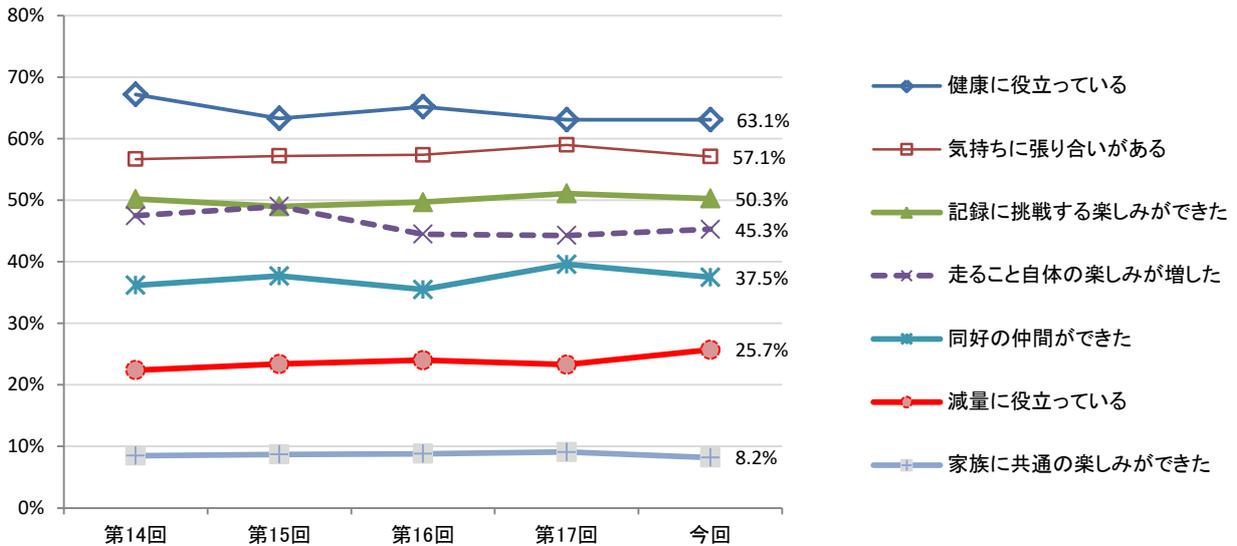
◆年代別では



効果 女性で「同好の仲間」「家族に共通の楽しみ」高め

マラソンを始めてからどのような効果があるか3つ以内の複数回答で聞いた。「健康に役立っている」が63%で最も多く、「気持ちに張り合いがある」が57%、「記録に挑戦する楽しみができた」が50%、「走ること自体の楽しみが増した」が45%で続く。前回と順位に変動はない。

男女別に見ると「健康に役立っている」、「記録に挑戦する楽しみができた」、「減量に役立っている」は男性で高く、「同好の仲間ができた」、「家族に共通の楽しみができた」は女性で高め。



◆男女別では

